

雲林院は紫野にあり、淳和帝の離宮なり。仁明天皇の御子常康親王これを伝へ領し給ふ。其後天曆帝の御時、僧正遍照を別当に補せられ、堂塔嚴重に建られたり。今は雲林院と唱て此ほとりの郷名となり、旧跡纔にのこる。むかしは桜の名所なれば、和歌には雲の林と詠る。

今ぞ知る雲の林の星はたゞ空にみだる、螢なりけり

経 信

うへのをのことも花みんとて雲林院にまかりけるに、

よみてつかはしける

浦山し春の宮人うちむれておのが物とや花をみるらん

良 暹 法師